議案第５１号令和５年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議

本市議会は、議案第５１号令和５年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定に対し、下記のとおり決議する。

記

１　消防団の装備の充実について

消防団は、消防職員と連携しながら消火・救助活動を行うことで市民の安心・安全に寄与する団体であり、激甚災害が頻発する昨今において、その役割は特に重要なものとなっている。

消防団が使命を十全に果たすためには隊員一人一人が活動しやすい環境を整えることが不可欠であるが、このたびの審議において、本市の消防団は難燃性・透湿性が乏しい旧式の防火服を使用していることが明らかとなった。

令和７年度から新しい防火服を漸次導入するという答弁はあったものの、団員の身体・生命を守るためにもその導入は急務である。

ついては、来年度の消防団の装備に係る予算は、消防団活動を行う上で、必要な装備が行きわたるように立案することを求める。

２　不二輸送機ホールにおけるイベントの広報手段等の充実について

不二輸送機ホールでは連日さまざまなイベントが催されており、それらのイベントを通じて行われる文化の創造や交流は、市民のシビックプライドの醸成や市外からの来場者に対する本市のＰＲ等にも資する大変意義深いものである。

しかしながら、文化の発信拠点であるにも関わらず、市ホームページではすぐにイベント情報にたどり着けず、市が関与しているイベントしか詳細が分からないなど、各イベントを十分に市内外の人々に対して周知できていないのが現状である。

ついては、来年度予算において、独自のポータルサイトを創設するなど本

市の文化の発信拠点としてふさわしい広報手段・内容を充実させるための予算を確保することを求める。

３　特別支援教育支援員業務委託契約の内容の検討について

特別支援教育支援員は、特別な支援が必要な児童生徒に対して学校における学習支援・日常生活動作のサポートを行うなど、インクルーシブ教育の面からも不可欠な人材であるが、当該支援員に支払う委託料は十分とはいえないのが現状である。

ついては、令和６年１０月１日からの山口県内の最低賃金値上げや、近隣市の状況などを踏まえ、優秀な人材を確保し、特別支援教育支援員が十分に活動できるよう、待遇面を含めて業務委託契約の内容の検討を求める。

４　住宅リフォーム資金助成事業に係る予算の増額について

住宅リフォーム資金助成事業は、市民の住環境の向上を目的とした制度であるとともに助成金を支給することで住宅リフォームに携わる市内事業者の仕事を増やし、地域経済を活性化させるものである。

令和５年度も、当該助成金の受付期間内に申請額が予算額の上限に達し、市民の要望に十分に応えられていないことが決算審議で明らかになった。

ついては、来年度以降の住宅リフォーム資金助成事業の予算の増額を求める。

令和　　年　　月　　日

山陽小野田市議会